

人間のやったことは 人間がまだやれることの 百分の一にすぎない

豊田 佐吉

人間の発明には
まだ多くの可能性が
秘められている

豊田 佐吉

明治・大正期の発明家・実業家。
遠江(現在の静岡県)生まれ。能率
の悪い手織機を改良することで
人々の役に立てると考え、明治二
三年「木製人力織機」、明治二七年
「糸繰返機」、明治三十年「木鉄混
製力織機」を発明。大正七年豊田紡
織(現トヨタ紡織)を設立。その後
のトヨタグループの礎を築いた。

「七夕の節供」への誘ひいざな たなばた せっく

七夕は、中国伝来の「織女星伝説」と「乞巧奠」という風習に、日本古来の「棚機」と「神衣を織る女性」が融合したものと考えられています。民俗学者の折口信夫氏が唱える「棚機津女」の伝承は、水辺に設けた機屋に籠り機織り機で神に捧げる衣を織る乙女とあります。また、『古語拾遺』には「天棚機姫神をして神衣を織らしむ」とあり、古くから棚機をタナバタと読んでいたことが分かります。七夕の伝承・由来は様々あれども、夜空の星をより美しく眺めていた人々にとって七夕の星合う夜空は神に祈り捧げる瞬間であったことでしょう。

神社は心のふるさと
未来に受け継ごう「美しい国ぶり」



宮中三殿のうち皇霊殿でお祭りが行われ、天皇皇后両陛下をはじめ皇族方がご拝礼なされます。伏見桃山陵においてもお祭りが行われます。